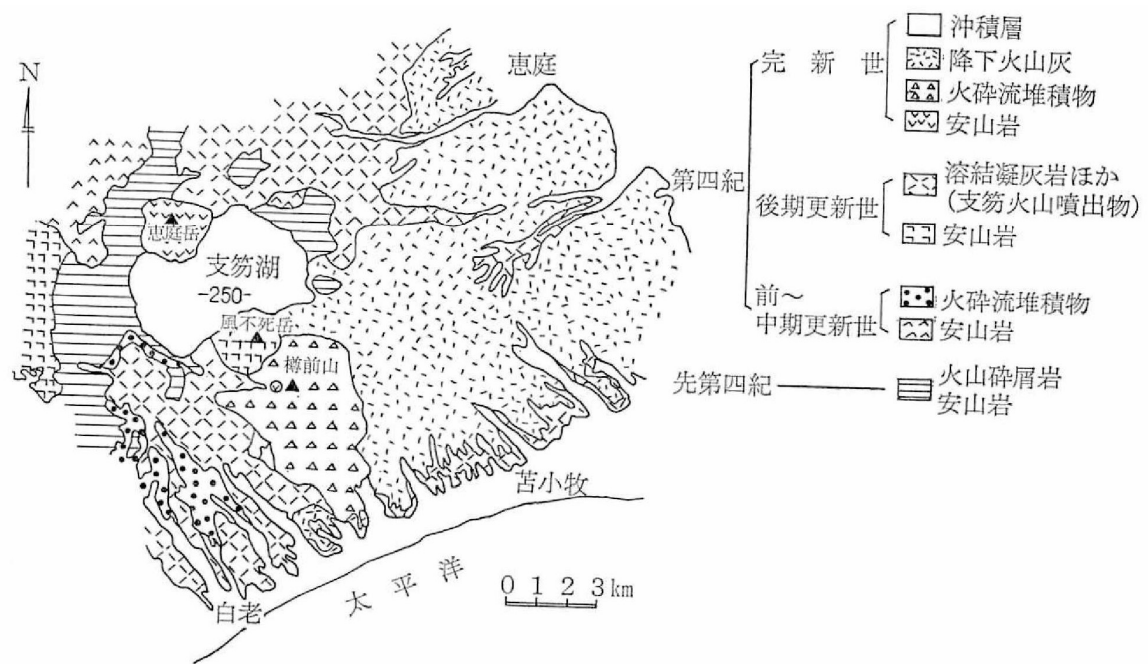


## 地形・地質

支笏湖は、札幌市の南方約30kmに位置する更新世末期にできたカルデラ湖です。カルデラ形成に伴って放出された大量の火山噴出物（支笏火山噴出物）が湖の東方向に広く分布してします。カルデラをとりまく外輪山の地形は東側は山麓部の傾斜が緩い典型的な火山山麓地形なのに対し、北西側は起伏の大きい急峻な地形です。

## 地下水

支笏湖外輪山の北東～南西麓には、広大な緩傾斜地が存在しますが、林業開発以外の開発はほとんど行われていません。このため、本地域の地下水利用はほとんどなく、地下水の賦存状況についても不明な点が多いです。



支笏湖周辺の地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.iagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）